

私の「人生最大の失敗」は、今年の8月に「南イタリアへ」ツアー旅行最終日に起こった。

ローマ市内観光の最後であるコロッセオ見物を終えて、バスに戻り座席についた時であった。おや、と思った。シヨルダーバッグのチャックが開いている。嫌な予感が走る。バッグの中を調べるが、無い！鼓動が高まる。落ち着け！どこかに、入っていないか？やはり、無い！溜息が出た。

えらいことになった！添乗員に「コロッセオ見物で、財布とパスポートを擦られた様だ」と伝えると、添乗員は明らかに不機嫌となった。添乗員の心の声が聞こえる。「あれほどスリには、注意しろと言っておいたのに……」と。そして添乗員は、どこかへ電話で何回か連絡した後に「私は他のツアー客を連れて帰国しなければならぬ」

「今日は、土曜日なので、当社と提携している事故担当の現地オフィスも、手続きが必要な日本大使館も、どこも月曜日まで休みです」「ついては、あなたは、今朝チェックアウトしたホテルに戻り、月曜日まで現地オフィスから電話が入るのを待って、その指示に従って下さい」「それまでは、ホテルから出ない様にして下さい！これ以上何か起こると大変なことになるから」と告げ、そして、私1人を残して帰路についてしまったのである。

仕方なく、ホテルの1室に籠って、日本への電話を試みるが、時差が8時間ありうまく連絡が取れず、異国の地で1人になることの不安に苛まれていた、その時であった。「現地オフィスから、あなたをサポートする様に依頼を受けた」という、ローマ在住の日本人Dさんから、電話が入ったので

ある。更に、△さんが「日本大使館は土曜日も、日本人からの電話連絡は受付けている」と教えてくれて、大使館とも連絡がとれたのである。

正に「地獄で仏」とは、このことであり本当に心強かった。そのお蔭で、何とか5日遅れでの帰国に、こぎ付け「人生最大の失敗」による危機を脱したのである。